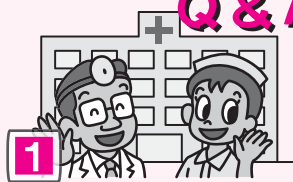


「健康診断」には、法令で定められたものと任意で受診できるものがあります。前者には学校や職場、行政で行われる健康診断があります。職場で働いている方の健康診断は、事業主により年に一回の実施が法律で義務づけられています。また、四十歳

「生活習慣病」や「がん」の早期発見を 年に1度の健診でイキイキ健康生活

このコーナーでは、健康診断についてのさまざまな疑問に対して、健康クリニックのスタッフが丁寧に答え、皆様が健康についてより関心を持ち、健康診断を受診する機会が増加するように情報提供していきます。

健康診断 なんでも Q & A



今回頂いた質問
「健康診断」とはどういう
ものか教えてください。
(40代 男性)

以上、住民の方には、行政等が特定健診やがん検診の受診を勧めています。(がん検診等について不明なことがあります。市町の窓口等にお問い合わせください。)

後者には人間ドックがあり、未病段階の生活習慣病や早期がんなどを発見するために実施します。

当会健康クリニックでは、女性のための検診として、乳腺マンモグラフィ・乳腺エコー・子宮がん検診(頸部)・血液検査の卵巣がん腫瘍マーカーであるCA125・ホル

モン検査による更年期の判定を行う更年期ドックや検査を実施しています。

また、血液でできるがん検診として、膵臓がんスクリーニング・前立腺がん検診(PSA)・胃ペプシノーゲン・胃ピロリ菌検査・血液抗p53抗体検査・CEA検査・C型肝炎検査・B型肝炎検査を実施しています。

～ 健診項目表 ～

①職場の定期健康診断(法定健診)
【検査項目】 既往歴・業務歴の調査、自覚症状の有無の検査、身長、体重、BMI、腹囲、視力、聴力の検査、胸部エックス線検査、血圧測定、尿検査、貧血検査、肝機能検査、血中脂質検査、血糖検査、心電図検査
②人間ドック(主な検査項目)
【検査項目】 既往歴・業務歴の調査、自覚症状の有無の検査、身長、体重、BMI、腹囲、視力、聴力の検査、胸部エックス線検査、血圧測定、尿検査、貧血検査、肝機能検査、血中脂質検査、血糖検査、心電図検査、腎機能検査、眼底検査、眼圧検査、胃部エックス線検査、便潜血検査、肺機能検査、腹部超音波

『110万人のエコ講座』が本格化

前号でも紹介したが、「110万人のエコ講座」は、町内会を主体とした市民グループを対象

市民グループを中心に33回

町内会での実施を働きかけ



エコ講座のチラシ

を開催した。

エコ講座専用のテキストを用いて、ごみ減量・リサイクルおよび地球温暖化に関する情報提供を行うほか、ごみの分別実習や省エネ電球の消費電力比較実験などを行い、実際に目で見てそ



脱温暖化とごみ減量などをテーマに実験やクイズ・ゲームなどを織り交ぜて楽しく進行していく

の効果を確認しながら、取り組みへの意識を高めるよう工夫している。また講座実施後にはアンケートを実施しており、参加者からは「よく理解できた」「講座の内容は今後に活かせる」「もっとこの講座を広めてほしい」など、高い評価を得ている。現在は市民グループを対

(地域活動支援センター)

微量分析とは1～10ミクロン以下の含有量が極めて少ない成分を対象とする化学分析です。その微量分析の上に極(ごく)がつく分析とはどのようなもののでしょうか。水を例に挙げると、水道水質基準では鉄の量に関しては0.3ミクロン(0.3×10⁻³グラム/リットル)以下と定められています。

それに対して極微量分析の一つであるダイオキシン類の河川水の環境基準は、1pg-TEQ/リットル(1×10⁻¹²グラム-TEQ/リットル)となっており、非常に小さい数値となっています(TEQとはダイオキ

シンの毒性を評価するための単位)。ダイオキシン類測定によく使われる重さの単位は「pgピコグラム」です。これは、1グラムの1兆分の1の重さです。この1pg/リットルという量は、東京ドーム1000個分に水を満杯

身近にある 環保協の 技術

16 極微量分析

にして、1個の角砂糖を溶かした程度の濃度レベルです。ダイオキシン類の毒性は強いいため、極微量であっても生体や環境に与える影響を考える必要があります。そのため飲料水のダイオキシン類分析では、現場で水2000リットルからダイオキシン類を抽出し、その他多量に存在する妨害物質を分離・除去して、最終的に10μド(10⁻⁶ド)程度に濃縮して分析します。

このような極微量物質を測定するためには、高度な技術や装置が必要であり、品質システムに基づいた精度の管理が必要不可欠となります。そのため当協会では、職員の能力開発や技術レベルの向上に努めています。

これからお客様のご要望にお応えできるように、また正確な数値を

微量分析は精度管理が重要

1pgを検出するために



高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計(上)、抽出装置(ソックスレー抽出)(下)

1日でも早く報告できるように、私たちは努力していきます。

(微量試験室 森脇治)

生活習慣病予防健診【一般健診】 年に1度の健診でイキイキ健康生活(お申し込みはお早めに！)

主な検査項目	受けられる方	本人の費用負担 費用負担額が一部変わりました
一般健診 (特定健康健診項目を含む) ●問診・触診・身体計測(腹囲など) ●視力・聴力測定 ●血圧測定 ●尿検査 ●便潜血反応検査 ●血液一般検査 ●血糖検査 ●尿酸検査 ●血液脂質検査 ●肝機能検査 ●胸部レントゲン検査 ●胃部レントゲン検査 ●心電図検査 など (注)胃部レントゲン検査に代えて、胃内視鏡検査を実施する場合があります。	40歳以上75歳未満 の被保険者の方 \$10.4.2~\$51.4.11に生まれた方 ※今年度で75歳を迎える方は、誕生日の前日まで受診できます。	費用総額 18,007円 本人負担 6,843円 のところが 健康費用総額の38%を負担

*上記のほか、付加健診や乳がん・子宮がん検診なども行っております。お気軽にお問い合わせください。



財団法人広島県環境保健協会
健康クリニック
〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1
TEL 082-232-4857 FAX 082-293-2214